

あじけん通信

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

小山市役所の西側を流れる思川（おもいがわ）の河川敷に咲く菜の花。待ちに待った春の到来です。



4月に入りました。3月は不安定な天候が続きましたが、このところ天気も落ち着き、過ごし易い日々が続いています。あじけん周辺の公園の花壇や木々にも花が咲き始め、実習生の皆さんの目を楽しませてくれています。例年のことながらこの季節に入寮してくる実習生の皆さんは、いつもにも増して、活気に満ちて溢れて見えます。日本では、4月は新年度が始まる月です。元気いっぱいの実習生の皆さんに負けぬよう本校日本語講師・スタッフ一同、新年度のスタート！という思いで、日本語学習をサポートしていきたいと思っております。

あじけんスコープ Vol.41 ～サクラ並木計画進行中！

あじけん裏庭の桜が今年も見事に花を咲かせました。「あじけん桜並木計画」と名づけて、実習生の皆さんと苗木を植樹したのが2013年（写真左）。あれから3年が経ち、幹も枝ぶりもご覧のように立派になり（写真右）、今年も見事な花を咲かせてくれました。「あじけん桜並木計画」は着実に進行しています！



今月の実習生

今月は日本のカレーの虜になった中国人実習生の陳志強（チンシキョウ）さんを紹介します。陳さんは、料理が好きで、寮では料理長！定番メニューはカレーで、週に2日はカレーの日があるそうです。

「はじめまして。私は日本の食べ物が大好きです。中でもカレーは、簡単に作れて、ご飯にも良く合います。中国には甘い食べ物は少ないですが、私は日本の甘いカレーがとても好きです。寮のルームメイトも、みんなカレーが大好きです。」（陳志強）



陳さんのルームメイトの皆さん

撮影後に、陳さん特製カレーを勧められて、食べてみたところ、野菜が細かく刻まれており、中華風？不思議な触感のカレーでした。でも、とてもおいしかったです。チンさん、ご馳走様でした。

あじけん流日本語授業

「ゴミの分け方大丈夫？」～ゴミ分別を題材にした授業～



写真 1：分別種類・表示マークの導入



写真 2：表示マークを確認する実習生



写真 3：分別に挑戦する実習生



写真 4：意見交換する実習生

今月のあじけん流日本語授業は、4月1日から小山市のゴミの分別方法が変わったことを受けて行なわれたゴミ分別を題材にした授業をご紹介します。授業では、先ずゴミの種類（小山市では8つ）と、リサイクル可能なゴミには、分別方法が示された表示マークがあることを紹介しました（写真1）。ここでは、これまで実習生に分かり易いようにとの配慮から「もえるゴミ」「もえないゴミ」という名称が使われていましたが、一般的に用いられている「かねんゴミ」「ふねんゴミ」「ビニ・プラ」という具体的なゴミの種類の名称を学習しました。その後、それぞれの表示マークを実際のゴミを使って確認しました（写真2）。そして、いよいよ実際のゴミ分別に挑戦（写真3）。細かい分別に悪戦苦闘する実習生の皆さんもいましたが、「リサイクルゴミの表示マークは便利です。意味も分かって役に立ちました。」「自分の国ではゴミを殆ど分けないので、まだ慣れないけれど、頑張って分別したい。」「ゴミの分別は、小さなことだけれども、小さなことをやらないと、資源の節約とか大きなことはできないから、頑張りたい。」等、前向きな意見が数多く聞かれました（写真4）。実習生の皆さんは、来日直後の母語による生活指導（寮生活に関わるオリエンテーション）で、一度、小山市のゴミの分別方法を学習していますが、この授業を通して、生ゴミ・ビン・カン・ペットボトル・乾電池・粗大ゴミなど、日常生活に密着した名詞を数多く、実践的に導入することが出来ました。また、分ける・捨てる・洗う・束ねる・潰す等技能実習でも使われそうな動詞も多数導入できたので、今後、実習生の皆さんの実生活に即した多くの単語や表現が学習できる題材として、日本語カリキュラムの中に位置づけていくことも検討中です。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバー
もご覧になれます